

1 事業名等(Plan 1)

事業名	災害対策物資備蓄事業											
所属名	企画管理部			企画課			企画グループ					
第七次総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして	分野	8	防災	基本 施策	2	災害時における市民の暮らしを守る	施策	2	災害体制の充実
予算科目	2	1	13	災害対策本部	費	21305	災害対策事務	事業				
					費			事業				
					費			事業				
根拠条例・実施要綱・担当部門計画等	高山市地域防災計画、災害備蓄品購入計画											
事業の実施主体	○ 市 市以外→											
事業の実施方法	○ 直営 指定管理 業務委託 団体等補助 その他→											

2 事業の目的・概要(Plan 2)

目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入

目的	誰のために(対象)	高山市全市民	受益者数	96,231 人
目的	対象をどういう状態にしたいのか(意図)	災害発生時において、生命と財産を守る。		
概要	事業の実施手法、手順	岐阜県が算出した市内の災害時被災想定人数(28,000人)を基に、災害発生時に必要となる災害対策物資を整備する。		
概要	事業始期・終期	始期: 年度から	終期: 年度まで	設定なし ○
今年度の改善・改革ポイント	前年度の評価結果、指示事項等を踏まえ記入 賞味期限が迫っている備蓄品の有効な処分方法を検討する。			

3 事業費の推移・結果(Do)

【コスト面】		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
区分							
総合計画計画額(当初)		10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	
総合計画計画額(計画額)		10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	
事業費	予算額	10,000	10,000	10,000			
(計画・予算・見込・決算額)	決算・見込	8,903	8,938				
財源	国庫支出金	予算額					
		決算・見込					
	県支出金	予算額					
		決算・見込					
	地方債	予算額					
		決算・見込					
	受益者負担	予算額					
		決算・見込					
	繰入	予算額					
		決算・見込					
一般財源	予算額	10,000	10,000	10,000			
	決算・見込	8,903	8,938				
H17国勢調査 96,231 人 32,174 世帯 ※コスト→行政活動の単位当たり経費算出、変動を経年比較により、効率性評価							
コスト	受益者負担率(受益者負担/事業費)	単位 %					
コスト	市民1人当たりコスト(事業費/H17人口)	単位 円/人	93	93			
コスト	1世帯当たりコスト(事業費/H17世帯)	単位 円/世帯	277	278			
指標	受益者1人当たりコスト(事業費/指標)	単位 円/人					
指標	↓ その他(空欄にコスト指標名記入、事業費をベースとして単位当たりコストを算出)	単位 円/人					

【成果面】

活動・成果指標	活動指標	投入した行政資源を使い、どんな活動を行ったか、どのようなサービスを市民に提供したかを表す指標	指標名	物資・資材の備蓄品目数	資料・出席 算出式	備蓄品確保状況	単位	品目		
	活動指標	目標値	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	活動の方向
	活動指標	実績値	—	—	69	69	69	69	69	→
	活動指標	達成率	—	—	0	0	0	0	0	
成果指標	成果指標	活動やサービスを行った結果、市民にどのような影響(効果)をどれだけ与えたのかを表す指標	指標名	非常用備蓄食糧数の確保率	資料・出席 算出式	備蓄食糧確保状況	単位	%		
	成果指標	目標値	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	成果の方向
	成果指標	実績値	—	—	100	100	100	100	100	→
	成果指標	達成率	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

4 分析・評価(Check)

①事業の目的評価(事業の目的・概要に対する妥当性から事業の必要性を評価) (現状及び判定理由)	災害発生時において、市民の生命と財産を守るために必要な事項であるため、今後とも積極的に取り組む必要があると考える。				A:非常に高い B:高い C:低い D:非常に低い	目的評価 A
	減少	維持	1	増加		
②コスト面評価(事業費の推移、コスト指標の結果からコスト面を評価) (判定理由)	該当項目「1」入力(注 平成20年度から平成22年度第一四半期までの推移から判断) 災害備蓄品購入計画に基づき、毎年賞味期限のある食料品等の更新や災害対策備品の増強を行っているため、年度ごとのコスト変化はない。				項目	②コスト面
③成果面評価(活動指標・成果指標から成果面を評価) (判定理由)	拡大	維持	1	減少		
	毎年の計画的な整備によって、市民生活の安定を確保している。				③成果面	増加 維持 減少
					拡大 維持 減少	○
					コスト・成果ポジション E 第3水準	

目的評価「A・B」かつコスト・成果「第1水準」	→	I 「良い」	良好な水準を維持
目的評価「A・B」かつコスト・成果「第2水準」	→	II 「やや良い」	「I」の水準に向けた改善が必要
目的評価「A・B」かつコスト・成果「第3水準」	→	III 「普通」	「II」の水準に向けた改善が必要
目的評価「A・B」かつコスト・成果「第4水準」	→	IV 「やや良くない」	「III」の水準に向けた改善が必要
目的評価「C・D」もしくはコスト・成果「第5水準」	→	V 「良くない」	「IV」の水準に向けた改善もしくは事業の休止、廃止などの検討が必要

分析・評価(Check)により明らかになった課題・問題点
・必要資機材精査 ・期限切れ備蓄品の計画的更新 ・備蓄計画の見直し

5 今後の方向性(Action)

評価結果に対する改善提案(下記チェック)	現状維持 ■ 改善・継続 ■ 終期設定 ■ 休止 ■ 廃止 ■ 完了 ■
活動の方針	自然災害発生などの不測の事態に備え、地域防災力を強化するため、整備計画に基づき計画的に整備
次年度の実施方針	引き続き備蓄品を確保

一次評価 主管課	II
判断の理由	購入物資の品目・数量の充実に伴い成果は拡大するが、コスト面に関して減少できる方法をさらに検討するべきと考えるため。

総合評価	中 中 III
判断の理由等	「II」以上の水準に向けた改善が必要 今後も計画的な備蓄品の購入を行っていく必要がある。なお、期限切れが近い備蓄品についてはいかに有効に活用していくかが課題であり、現状では町内会の防災訓練などの際に利用していただいているが、防災訓練に限らず、イベントなどの際にも拠出できないか検討する必要がある。